Panasonic

DVD-RAM/R ドライブ
DVD-RAM ドライブ
Windows XP 取扱補足説明書

この取扱補足説明書は本機に付属されている Windows XP 用のソフトウェアの取り扱いについて説明しています。

本製品にはWindows XP 用のソフトウェアが付属されています。

ドライバーソフト

ドライバーソフトはお使いのパソコンに必ずインストールしてください。

■ **ドライバーソフト**
Windows XP で、UDF形式のDVD-RAM ディスクを読み書きするためのファイルシステムドライバーです。

■ **フォーマットソフト（DVDForm）**
DVD-RAM ディスクをUDF形式やFAT32形式にフォーマットするソフトウェアです。

■ **リージョン設定ソフト（DVDRgn）**
DVD-RAM/R ドライブのリージョン番号を設定するソフトウェアです。

アプリケーションソフト

アプリケーションは必要に応じてインストールしてください。（付属されているアプリケーションはご使用のドライブにより異なります。）

■ **バックアップソフト（FileSafe）**
指定したフォルダを自動的にバックアップしたり、内容変更されたフォルダのみをDVD-RAM ディスクにバックアップするソフトウェアです。

■ **ディスクコピーソフト（MediaSafe）**
DVD-RAM/Rドライブ1台で、DVD-RAM ディスクに記録されているデータを、別のDVD-RAM ディスクへディスクコピーするソフトウェアです。

■ **DVD ビデオレコーディング対応ソフト（DVD-MovieAlbum）**
パソコン上でDVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」に対応したビデオレコーディングの記録・再生・編集環境を提供するソフトウェアです。

■ **DVD Video 再生ソフト（WinDVD 3.0）**
InterVideo社のソフトウェアDVD プレーヤーです。

■ **DVD パーソナルオーサリングソフト（DVDit!™ LE）**
MPEG2の動画ファイルを用いたDVD-Video形式でのオーサリング（コンテンツの作成）をするソフトウェアです。

■ **DV 動画編集ソフト（MotionDV STUDIO）**
DV映像の取込みから、高度な編集まで可能なDV編集用ソフトウェアです。

LF-D100シリーズ、LF-D200シリーズをご購入の方へ
“DVD-RAM/R ドライブ”と記載されている部分は“DVD-RAM ドライブ”と置き換えてお読みください。

VQT9602

ドライバーソフトのインストール

UDF 形式のDVD-RAM ディスクの読み書きを可能にするためのUDFファイルシステムドライバーをインストールします。

1 付属のCD-ROM をDVD-RAM/R ドライブにセットする

（自動的にインストールプログラムが起動します）

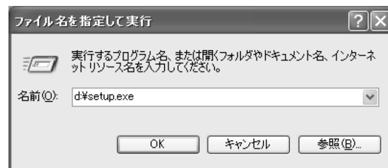
● 自動的にインストールプログラムが起動しない場合は、以下の手順で操作してください。
（CD-ROM をセットしたDVD-RAM/R ドライブのドライブ名を、Dドライブと仮定します）

❶ [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選択する

❷ [名前]欄に[d:\setup.exe]と入力する

❸ [OK]ボタンをクリックする

（インストールプログラムが起動されます）



2 [DVD-RAMドライブ用ソフトウェアのインストール] あるいは[DVD-RAM/R ドライブ用ソフトウェアのインストール]を選択する

表示される画面はご使用のドライブにより異なります。





3

❶ 右の画面が表示されたら、[ドライバーソフト(必須)]を必ず選択する

● アプリケーションソフトは、使用したいアプリケーションを選択してください。
●［Q&A］を選択すると、Q&Aファイルがインストールされます。

❷ [インストール] ボタンをクリックする

（インストールが始まります）

● 画面の指示に従って、作業を進めてください。



4 インストール終了後、

❶ [はい、直ちにコンピュータを再起動します。]を選択する

❷ [終了] ボタンをクリックする

（パソコンが再起動されます）

● 再起動後はUDF形式のDVD-RAM ディスクの読み書きが使用可能となります。



お知らせ

● **Windows NT 4.0/Windows 2000用ドライバーソフトに関して**

本機に付属するWindows NT 4.0（LF-D100シリーズのみ）/Windows 2000用ドライバーソフトはUDF2.0対応です。

・フォーマット時に、“ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）”が選択できます。

・UDF2.0形式のDVD-RAM ディスクのリード・ライトが可能です。

本機の認識

Windows XP でDVD-RAM/R ドライブは**DVD-RAM ドライブアイコン**で認識されます。


DVD-RAM ドライブ (D:)

DVD-RAM/R ドライブにDVD-RAM ディスクを挿入すると、アイコンが以下のように変化します。

- ボリュームラベルが設定されていない場合 CD ドライブ (D:) ←『**CDドライブ**』と表示される。
- ボリュームラベルが設定されてる場合 TEST (D:) ←『**ボリュームラベル**』が表示される。

お知らせ

例えば以下のような操作を行った場合、CD ドライブアイコンに変化し、DVD-RAM ディスクを挿入してもアイコンが変化しない場合があります。


CD ドライブ (D:)

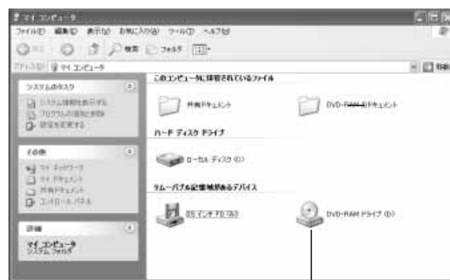
（1）DVD-RAM/R 接続直後
（2）DVD-RAM ディスクのフォーマット後
（3）付属のドライブ・ディスクツール（ODDiag）使用後
また、Windows XP がDVD-RAM/R ドライブに対して“ CDドライブ ”と表示する場合があります。
これらの現象が発生しても、DVD-RAM ディスクへのリード・ライトは問題なく行えます。

以下の方法で、本機が正常に認識されていることを確認して下さい。

■［マイコンピュータ］上での確認

本機を接続すると、［マイコンピュータ］上にアイコンが追加されます。
右の画面例では、Dドライブが DVD-RAM ドライブとして認識されています。

- 正常に表示されない場合、［表示］メニューの［最新の情報に更新］を選択してください。



DVD-RAM ドライブ用アイコン

■［デバイスマネージャ］上での確認

1 **［スタート］→［コントロールパネル］→［パフォーマンスとメンテナンス］→［管理ツール］→［コンピュータの管理］を開いて［デバイスマネージャ］をクリックする。**

2 **右の画面（各装置の接続状況）が表示されます。**

3 **画面中の［DVD/CD-ROMドライブ］をダブルクリックする。**



本機が認識されています。
（表示はご使用のドライブにより異なります。）

DVD-RAM ディスクの使いかた

論理フォーマットのしかた

DVD-RAM ディスクのフォーマット形式には、UDF形式とFAT32形式があります。
用途に合わせて、使い分けることをおすすめします。
2.8 GB（8 cm）/ 5.2 GB / 9.4 GB両面タイプのDVD-RAM ディスクについては、片面毎にフォーマットを行ってください。

■UDF（Universal Disk Format）形式

DVDの統一標準フォーマットで、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RAM 間でデータ互換を保つための論理フォーマットです。ファイルサイズの大きな（画像、音声データ）読み書きを高速で行うことができます。

■FAT32形式

Windows XP の標準フォーマットで、ハードディスクなどで使用されている論理フォーマットです。

1 **フォーマットするDVD-RAM ディスクを本機にセットする**

2 ❶ **［マイコンピュータ］を開く**

❷ **DVD-RAM ディスクに割り当てられたアイコンを、マウスの右ボタンでクリックする**

3 **メニュー中の［フォーマット］をクリックする**



お願い

● **Windows XP でのフォーマットソフトの起動について**

（1）フォーマットソフトをご使用の時は、コンピュータの管理者アカウントのユーザーでログインしてください。

（2）フォーマットソフトの起動前に、DVD-RAM ディスクを使用中の全てのアプリケーションを終了してください。

DVD-RAM ディスクの使いかた

推奨フォーマットについて

■PCデータ記録で使用するときは、フォーマット種別 " ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）" を選択します。

DVD-RAM ディスクでWindows / Mac OS※1などの異なるOS 環境でデータ交換ができます。

1 フォーマット種別で、[ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5)] を選択する

2 ボリュームラベルを入力する

3 [開始] ボタンをクリックする

※1 UDF1.5形式のDVD-RAM ディスクの読み書きができるのはMac OS 9（2001年10月1日現在）です。



■AVデータ記録で使用するときは、フォーマット種別" ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）"を選択します。

4.7 GB / 9.4 GB DVD-RAM ディスクをDVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVDビデオレコーダーや同規格準拠の DVD-MovieAlbum などのPC用記録ソフトで使用するとき、あるいは 8 cm DVD-RAM ディスクをDVDビデオカメラで使用するときのみ選択してください。

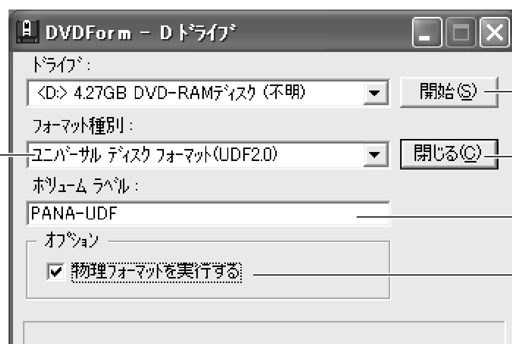
1 フォーマット種別で、[ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0)] を選択する

2 ボリュームラベルを入力する

3 [開始] ボタンをクリックする



各部の詳細説明



フォーマットを開始する

DVDForm を終了する

ボリュームラベル名を入力する
- UDF形式を選択した場合、必ず入力してください。入力しない場合、" PANA-UDF " が自動的に設定されます。

物理フォーマットを行う場合に選択する
(通常は、選択する必要はありません)
- ディスク上の全セクターを検査し、不良セクターの代替処理を行います。
(通常は、4.7 GB/9.4 GB DVD-RAM ディスク、2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM ディスクは1時間程度で、8 cm DVD-RAM ディスクは20分程度で終了します)

▼ をクリックし、フォーマット形式を選択する
(☞ 6ページ)

DVD-RAM ディスクの使いかた

■フォーマット形式を選択する

● 4.7 GB / 9.4 GB DVD-RAM ディスクの場合

ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）	● DVD-RAM の標準フォーマットです。Windows / Mac OS※1などの異なるOS環境でデータ交換ができます。 ● UDF1.5形式のDVD-RAM ディスクは、DVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVDビデオレコーダーや同規格準拠の DVD-MovieAlbum などのPC用記録ソフトでは使用できません。
ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）	● DVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVDビデオレコーダーや同規格準拠の DVD-MovieAlbum などのPC用記録ソフトで使用するためのフォーマット形式です。
FAT-32	● Windows 95（OSR2※2以降）/ Windows 98 / Windows Me/ Windows 2000 / Windows XP でサポートされたフォーマットです。 ● FAT-32形式のDVD-RAM ディスクは、Windows NT では使用できません。

● 2.6 GB / 5.2 GB DVD-RAMディスクの場合

ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）	● DVD-RAM の標準フォーマットです。Windows / Mac OS※1などの異なるOS環境でデータ交換ができます。
FAT-32	● Windows 95（OSR2※2以降）/ Windows 98 / Windows Me/ Windows 2000 / Windows XP でサポートされたフォーマットです。 ● FAT-32形式のDVD-RAM ディスクは、Windows NT では使用できません。

● 8 cm DVD-RAM ディスクの場合

ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）	● DVD-RAM の標準フォーマットです。Windows / Mac OS※1などの異なるOS環境でデータ交換ができます。 ● UDF1.5形式のDVD-RAM ディスクは、DVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVDビデオレコーダー、DVDビデオカメラや同規格準拠の DVD-MovieAlbum などのPC用記録ソフトでは使用できません。
ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）	● DVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVDビデオレコーダー、DVDビデオカメラや同規格準拠の DVD-MovieAlbum などのPC用記録ソフトで使用するためのフォーマット形式です。DVDビデオレコーダーやDVDビデオカメラで使用されるディスクは、このフォーマットを行ってください。
FAT-32	● Windows 95（OSR2※2以降）/ Windows 98 / Windows Me/ Windows 2000 / Windows XP でサポートされたフォーマットです。 ● FAT-32形式のDVD-RAMディスクは、Windows NT では使用できません。

※1 UDF1.5形式のDVD-RAM ディスクの読み書きができるのはMAC OS 9（2001年10月1日現在）です。
※2 システムプロパティの情報が“ 4.00.950 B ”または“ 4.00.950 C ”のOSです。
[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [システム] を開いて確認できます。

DVD-RAM ディスクの使いかた

各OSで使用可能なフォーマット形式とフォーマット直後の使用できる片面の空き容量と使用容量

・4.7 GB / 9.4 GB DVD-RAM ディスクのアンフォーマット時の片面の全容量は4.7 GB、2.6 GB、
・5.2 GB、 DVD-RAM ディスクのアンフォーマット時の片面の全容量は2.6 GB、
・8 cm DVD-RAM ディスクのアンフォーマット時の片面の全容量は1.4 GB
ですが、論理フォーマット直後の空き容量、使用容量は以下の値になります。

ディスク種別	フォーマット形式	論理フォーマット後の空き容量	論理フォーマット後の使用容量
4.7 GB 9.4 GBの片面	UDF1.5	4.26 GB※3	282 KB
	UDF2.0	4.26 GB※3	282 KB
	FAT-32	4.25 GB※3	4 KB
2.6 GB 5.2 GBの片面	UDF1.5	2.32 GB	158 KB
	FAT-32	2.31 GB	4 KB
1.4 GB 2.8 GBの片面	UDF1.5	1.3 GB	92 KB
	UDF2.0	1.3 GB	92 KB
	FAT-32	1.3 GB	4 KB

※3 当社製4.7 GB / 9.4 GB DVD-RAM ディスク/8 cm DVD-RAM ディスクと本機に添付のフォーマットソフトを使用した場合のフォーマット直後のディスク容量です。

DVDビデオレコーダーで記録されたDVD-RAM ディスクの扱いについて

DVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVDビデオレコーダーやDVDビデオカメラ及び同規格準拠の DVD-MovieAlbum などのPC用記録ソフトで記録されたDVD-RAM ディスク上には“ DVD_RTAV ”フォルダーが作成され、このフォルダー内にビデオレコーディング規格の各種ファイルが作成されます。PC上でこのフォルダーやフォルダー内のファイルにアクセスしないでください。

このフォルダーやフォルダー内のファイルを削除、変更すると、DVDビデオレコーダーやPC用記録ソフトで再生ができなくなります。
PC上でこれらのファイルにアクセスするには、DVD-MovieAlbum をご使用ください。
DVDビデオレコーダーやDVD-MovieAlbum で作成したデータのコピーは、DVD-MovieAlbum に付属のコピーツールをお使いください。

ディスクへのアクセスについて

DVD-RAM ディスク

論理フォーマットを行ったDVD-RAM ディスクは、ハードディスクやフロッピーディスク同様、ファイルの読み書きが実行できます。
例えば、本機がDドライブとして認識されている場合、本機にDVD-RAM ディスクをセットし、Dドライブにアクセスしてください。
（本機のドライブ名は、お使いのシステム環境により異なります）
DVD-RAM ディスクは、パナソニック製を推奨いたします。

お知らせ

Windows XP の仕様上の制限により、FDISK FAT-16形式のDVD-RAM ディスクの読み書きはできません。
FDISK FAT-16形式のDVD-RAM ディスクのデータをWindows XP で読み書きする場合はUDFあるいは FAT-32形式の DVD-RAM ディスク にデータをコピーあるいは移動してください。

DVD-R ディスク（LF-D321JD、LF-D340JDのみ）

付属のDVDit! で、DVD-R (for General) ディスクにDVD-Video 形式のデータの書き込みができます。
詳しくは、DVDit! の使い方をご覧ください。
DVD-R (for General) ディスクは、パナソニック製を推奨いたします。

上記以外のディスク

本機は、CD-ROM ドライブやDVD-ROM ドライブ同様、音楽CD、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROM、DVD-R 等のディスクが再生できます。
例えば、本機がDドライブとして認識されている場合、本機にCD-ROM、DVD-ROM をセットし、Dドライブにアクセスしてください。
（本機のドライブ名は、お使いのシステム環境により異なります）

PD カートリッジの使いかた（LF-D100 シリーズのみ）

論理フォーマットのしかた

PD カートリッジを使用するためには、フロッピーディスクやハードディスク同様、論理フォーマットを行う必要があります。以下の方法で、論理フォーマットを行ってください。

1 **フォーマットするPD カートリッジを本機にセットする**

2 **［マイコンピュータ］を開き、PD カートリッジに割り当てられたアイコンを、マウスの右ボタンでクリックする**

3 **メニュー中の［フォーマット］をクリックする**



4 **画面中の［開始］をクリックする**



フォーマットを開始する

DVDFormを終了する

ボリュームラベルを入力する

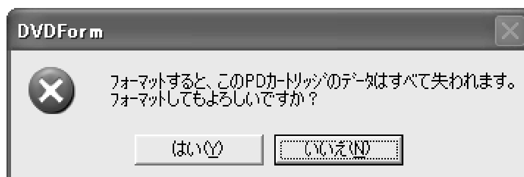
物理フォーマットを行う場合に選択する
（通常は、選択する必要がありません）
- ディスク上の全セクターを検査し、不良セクターの代替処理を行います。（通常は30分程度で終了します）

▼をクリックし、フォーマット形式を選択する

スーパーフロッピーディスク（SFD）FAT-16	Windows の標準フォーマットです。

5 **フォーマットの確認メッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックする**
（フォーマットが開始します）

- フォーマット終了後、PD カートリッジが使用できます。



PD カートリッジの使いかた（LF-D100 シリーズのみ）

PD カートリッジを読み書きする

論理フォーマットを行ったPD カートリッジは、ハードディスクやフロッピーディスク同様、ファイルの読み書きが実行できます。
例えば、本機がDドライブとして認識されている場合、本機にPD カートリッジをセットし、Dドライブにアクセスしてください。
（本機のドライブ名は、お使いのシステム環境により異なります）

お知らせ

Windows XP の仕様上の制限により、FDISK FAT-16形式のPDカートリッジの読み書きはできません。
FDISK FAT-16形式の PDカートリッジのデータを Windows XP で読み書きする場合はスーパーフロッピーディスク（SFD） FAT-16形式の PDカートリッジ にデータをコピーあるいは移動してください。

付属のアプリケーションソフトの使い方

付属の各アプリケーション対応OS

DVD-RAM/R およびDVD-RAM ドライブに付属の各アプリケーションソフトの対応OSを以下に示します。

ソフト名	対応 Windows OS					
	95	98	Me	NT4.0	2000	XP
DVD-MovieAlbum	−	○	○	−	○	○
DVD it!™ LE	−	○	○	−	○	○
WinDVD 3.0	−	○	○	−	○	○
FileSafe	○	○	○	○	○	○
MediaSafe	○	○	○	○	○	○
MotionDV STUDIO	−	○(SE)	○	−	−	○※1
DVD-Agent	○	○	○	−	−	−※2
MPEG1Coder	○	○	○	−	−	−※2
MPEG1Mixer	○	○	○	−	−	−※2

〈ドライブが未対応のOSは、未対応になります〉

※1　該当する製品は付属のWindows XP 専用CD-ROMからインストールしてお使いください。
※2　Home Edition を含めWindows XP への対応予定はありません。

付属のアプリケーションソフトの使い方

アプリケーションソフトのインストール・アンインストール

■インストール

- MotionDV STUDIO 以外のアプリケーションソフトは、製品に添付のマニュアルに従ってインストールを行ってください。
- MotionDV STUDIO は該当する製品にWindows XP 専用CD-ROMが付属しています。このCD-ROMをドライブにセットすると自動的にMotionDV STUDIO のインストーラが起動します。インストーラーの指示に従ってインストールしてください。
  インストーラが自動起動しない場合、マイコンピュータもしくはエクスプローラー上でCD-ROMの “ **setup フォルダ** ” 内の “ **setup.exe** ” をダブルクリックして起動してください。

■アンインストール

- ［スタート］→［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］をダブルクリックして、削除したいプログラムを選択後、［変更と削除］ボタンをクリックして、アンインストールしてください。

アプリケーションの使い方

- MotionDV STUDIO 以外のアプリケーションソフトは、製品に添付のマニュアルに従ってご使用ください。
  MotionDV STUDIO XP 版は、画面デザインが製品添付のマニュアルに記載しているWindows 98SE/Me対応版と異なりますが、ボタンレイアウトや操作性に大きな変更はありません。
- FileSafe はWindows XP 上では「キーボード未使用時に自動実行」モードは使用できません。「定期的に自動実行」などのモードをお使いください。

お知らせ

・必ずアドミニストレータ（コンピュータの管理者）もしくはその権限でログオンしてインストールしてください。機能制限ユーザーではインストールができません。

・WinDVD 以外のソフトはアドミニストレータ（コンピュータの管理者）もしくはその権限でログオンしてご使用ください。機能制限ユーザーでは、WinDVD 以外のソフトはご使用になれません。

困ったとき!?

サポート用ユーティリティーについて

付属のCD-ROM には、以下のユーティリティーが準備されています。

■ドライブ・ディスク確認ユーティリティー（ODDiag）

DVD-RAM/R ドライブ、ディスクの状態の確認や、DVD-RAM ディスクの複製などを行うためのユーティリティーです。

このユーティリティーはサポート用に提供しています。通常は使用する必要はありません。
Q&Aファイルやサポートセンターの指示があった場合にのみお使いください。

このユーティリティーはドライバーソフトのインストール時に、フォーマットソフト（DVDForm）やリージョン設定ソフト（DVDRgn）といっしょにインストールされます。
（インストール先を変更していない場合、以下のフォルダーにインストールされます）

● Windows XP の場合

"\Program Files\Panasonic DVD-RAM\WinXP\DVD-RAMドライバー"

ソフトウェアのアンインストール

お使いのパソコンにインストールしたドライバーソフト／アプリケーションソフトを削除する場合、以下の方法でアンインストールを実行してください。

■Windows XP の場合

1 **[スタート] → [コントロールパネル] を選択する**

2 **[プログラムの追加と削除] を開き、アンインストールしたいソフトウェアを選択する**

3 **[変更と削除] ボタンをクリックする**

● 画面の指示に従って作業を進めてください。

● 作業終了後、パソコンを再起動してください。



松下電器産業株式会社
AVCネットワーク事業グループ

〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

VQT9602

M1001TY0